

平成23年度

埼玉県後期高齢者医療広域連合
主要施策の成果報告書

目 次

1	平成23年度一般会計決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	一般会計主要施策の成果・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	平成23年度特別会計決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4	特別会計主要施策の成果・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	〈参考資料〉・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	被保険者の加入状況	
	医療給付費の支給状況	
	高額療養費の支給状況	
	高額介護合算療養費の支給状況	
	移送費の支給状況	
	葬祭費の支給状況	
	保健事業の実施状況	
	後期高齢者医療費等に係る決算状況	

平成 2 3 年度一般会計決算状況

【平成23年度一般会計決算状況】

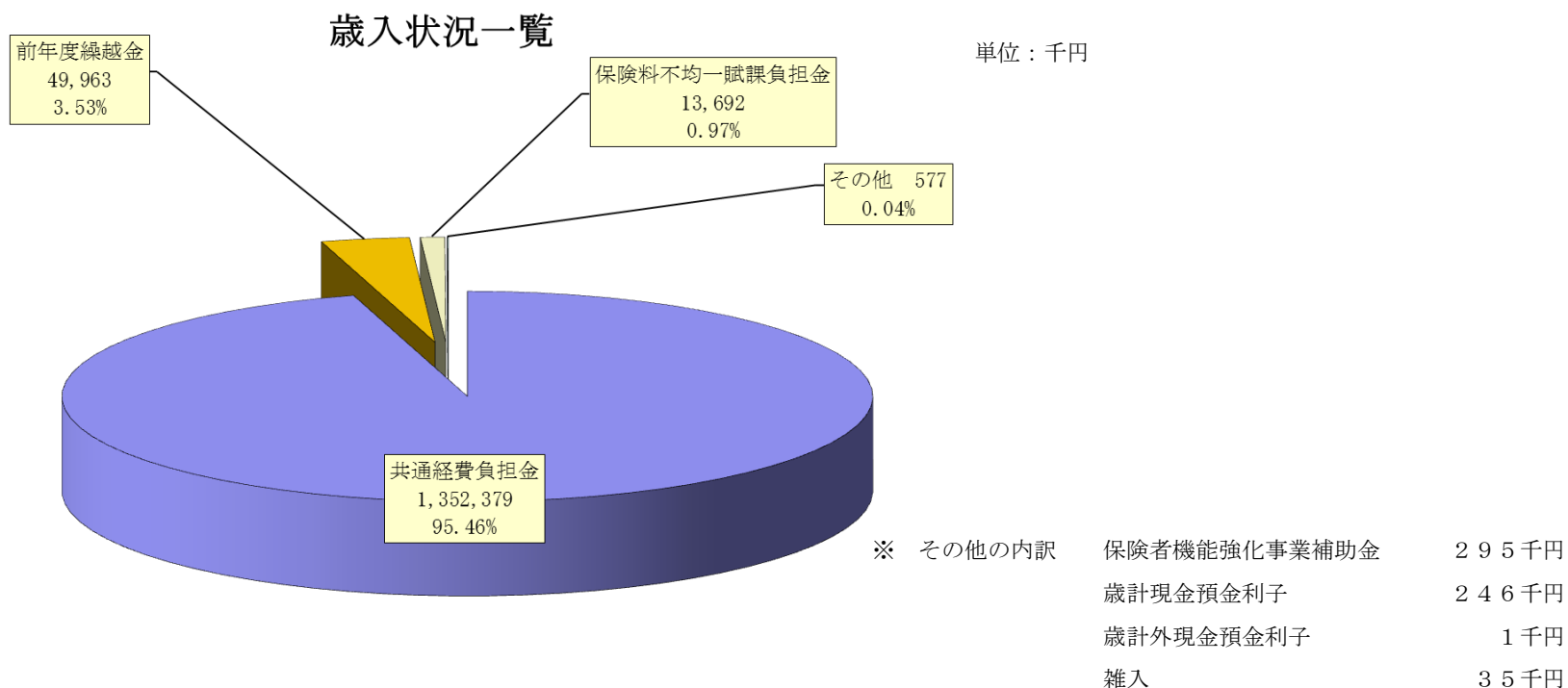
1 総 括

平成23年度予算は、埼玉県後期高齢者医療広域連合の運営、管理に必要な各経費を主に計上しており、一般会計歳入歳出予算額は最終的に14億1,780万1千円となりました。

また、一般会計歳入歳出決算額は歳入が14億1,661万1千円であったのに対し、歳出は13億6,630万4千円であり、歳入歳出差引額は5,030万7千円となっております。平成23年度は、翌年度に繰り越すべき継続費通次繰越額や繰越明許費繰越額等はありませんので、実質収支額も同額となります。

2 歳 入

構成市町村からの共通経費負担金が13億5,237万9千円で、歳入全体の95.46%、前年度繰越金が4,996万3千円で同3.53%、老人医療費が著しく低い市町村に設定された保険料に対する減額補てん分を国と県が負担する保険料不均一賦課負担金が1,369万2千円で同0.97%、その他の収入額が57万7千円で同0.04%となっています。



3 歳 出

目的別では、民生費が10億5,495万8千円で同77.21%、総務費が3億1,048万7千円で同22.73%、議会費が85万9千円で歳出全体の0.06%となっております。

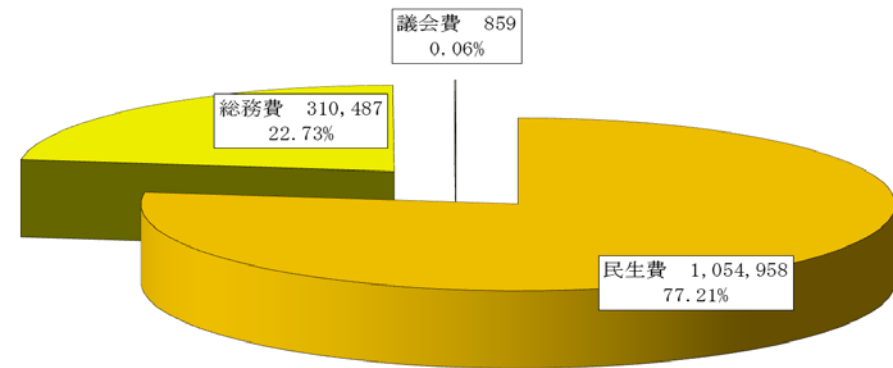
性質別では、繰出金が10億5,495万8千円で同77.21%、補助費等が2億5,301万9千円で同18.52%、物件費が5,798万7千円で同4.25%、人件費が34万円で歳出全体の0.02%となっております。

歳出の目的別内容

- 議会費 7月、11月、2月と計3回の議会を開催し、広域連合の条例、予算案等を審議しました。
- 総務費 広域連合の運営や事務処理を円滑に執行しました。
- 民生費 後期高齢者医療制度事業に係る事業費及び事務経費を特別会計に繰出しました。

目的別決算一覧

単位：千円

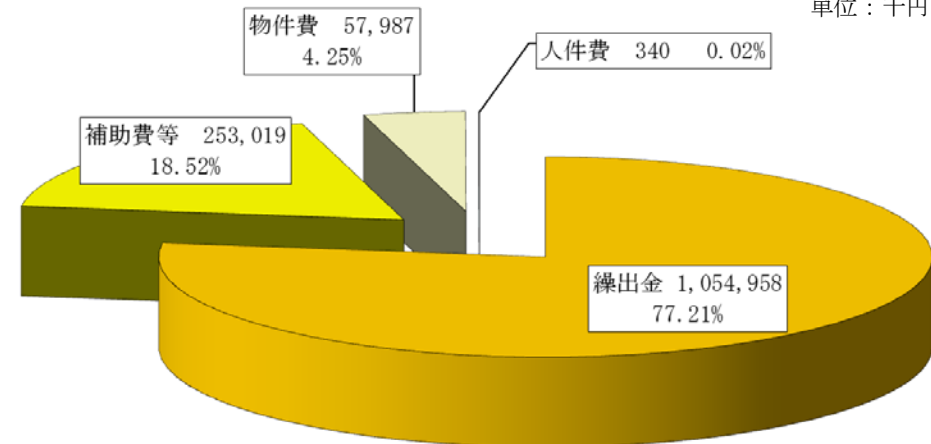


歳出の性質別内容

- 人件費 議員報酬や各種審議会等の委員報酬
- 物件費 各種の委託契約に係る経費や物品の購入費用等
- 補助費等 職員の派遣元自治体に支出している負担金や各種団体への負担金
- 繰出金 一般会計から特別会計への繰出金

性質別決算一覧

単位：千円



【一 般 会 計】

主 要 施 策 の 成 果

【一般会計】主要施策の成果

議会費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課 広域連合議会運営事業 予算現額：1,391千円	01 報酬	議員報酬	300	定例会2回、臨時会1回を開催し、12議案の審議を行った。
	09 旅費	費用弁償	17	
	11 需用費	食糧費	3	
	13 委託料	会議録作成委託料	385	
	14 使用料及び賃借料	議会会場使用料	154	
		計	859	

総務費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課 後期高齢者医療懇話会開催事業 予算額：727千円	08 報償費	高齢者医療懇話会報償金	265	懇話会を3回開催し、後期高齢者医療制度や広域連合の円滑かつ適正な運営に向けて、広く関係者の意見を聴いた。
	11 需用費	食糧費	4	
	12 役務費	通信運搬費	15	
		高齢者医療懇話会保険料	2	
	13 委託料	会議録作成委託料	80	
	14 使用料及び賃借料	会議室使用料	26	
		計	392	
財政分析委託事業 予算現額：683千円	13 委託料	財政分析委託料	683	財政状況分析、財務諸表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の作成を行った。
		計	683	
事務局職員給与等負担金 予算現額：276,900千円	19 負担金補助及び交付金	事務局職員給与等負担金	252,568	事務局職員33名の給与等相当分に係る負担金を支払った。
		計	252,568	

平成 2 3 年度特別会計決算状況

【平成23年度特別会計決算状況】

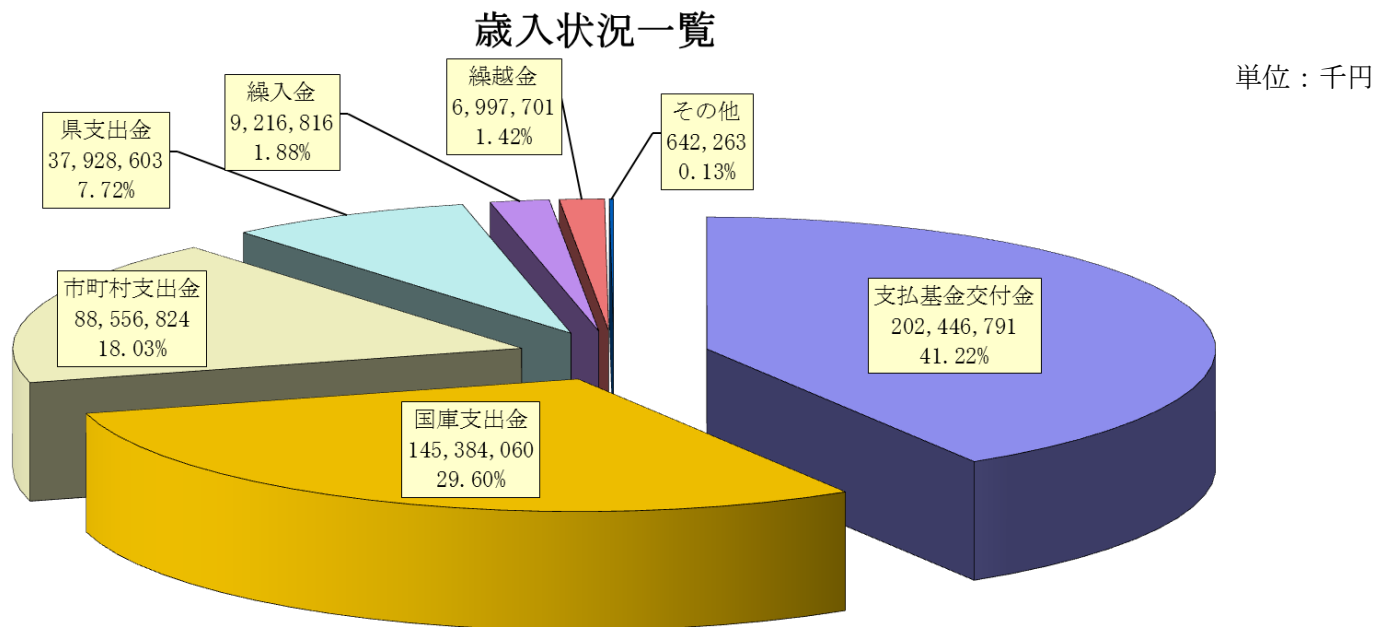
1 総 括

平成23年度予算は、医療給付費等に係る予算を中心に計上しており、特別会計歳入歳出予算額は最終的に4,955億9,686万6千円となりました。

また、特別会計歳入歳出決算額は歳入が4,911億7,305万8千円であったのに対し、歳出は4,884億649万3千円であり、歳入歳出差引額は27億6,656万5千円となっております。平成23年度は、翌年度に繰り越すべき継続費通次繰越額や繰越明許費繰越額等はありませんので、実質収支額も同額となります。

2 歳 入

支払基金交付金が2,024億4,679万1千円で、歳入全体の41.22%、国庫支出金が1,453億8,406万円で同29.60%、市町村支出金が885億5,682万4千円で同18.03%、県支出金が379億2,860万3千円で同7.72%、繰入金が92億1,681万6千円で同1.88%、前年度繰越金が69億9,770万1千円で同1.42%、その他が6億4,226万3千円で同0.13%となっております。

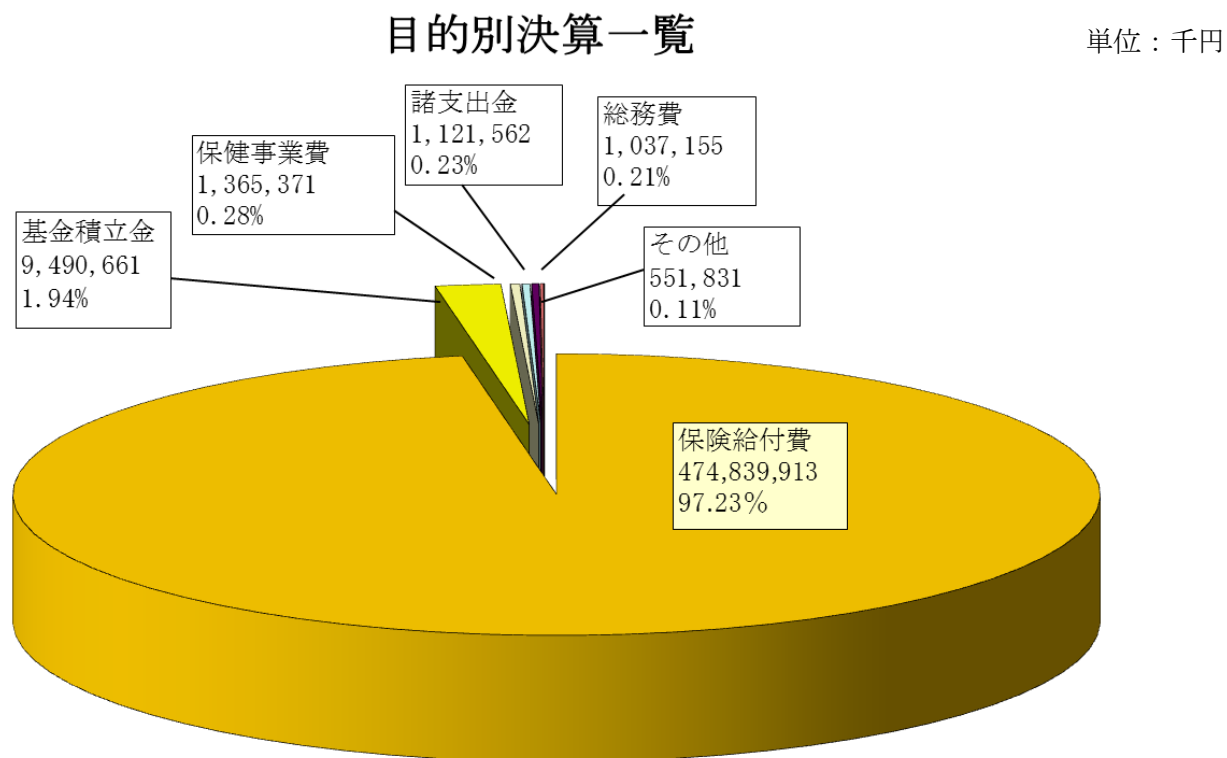


※その他の内訳

特別高額医療費共同事業交付金	86,678 千円
諸収入	549,006 千円
財産収入	6,579 千円

3 歳 出

目的別では、保険給付費が4,748億3,991万3千円で歳出全体の97.23%を占めており、基金積立金が94億9,066万1千円で同1.94%、保健事業費が13億6,537万1千円で同0.28%、諸支出金が11億2,156万2千円で同0.23%、総務費が10億3,715万5千円で同0.21%、その他が5億5,183万1千円で同0.11%となっております。



※その他の内訳

県財政安定化基金拠出金	460,632 千円
特別高額医療費共同事業拠出金	91,199 千円

【特 別 会 計】

主 要 施 策 の 成 果

【特別会計】主要施策の成果

総務費

課名・事業名	執行		額	事業の概要
	節	細節	金額(千円)	
総務課				
電算機器運用・維持管理事業 予算現額：315,032千円	13 委託料	広域連合システム市町村機器保守委託料	17,164	リース又は買取りにより調達した標準システムの機器類（サーバ・端末・プリンタ等）について、適切な維持管理を行うため「保守・運用管理業務」を委託により行った。
		国保連合会業務委託料	244,590	
		増設機器保守管理等委託料	21,818	
	14 使用料及び賃借料	広域連合システム機器等賃借料	28,111	
		計	311,683	
保険料課				
印刷製本事業 予算現額：9,104千円	11 需用費	印刷製本費	8,319	後期高齢者医療制度の広報・周知のため、被保険者証交付時用ミニガイド、保険料納付通知書送付時用ミニガイド、保険料改定に伴うパンフレット、制度説明用パンフレット、障害認定申請者説明用パンフレット、被保険者証切替え時の広報用ポスターを作成した。 被保険者証交付時用ミニガイド（77.1万部）、保険料納付通知書送付時ミニガイド（80万部）、保険料改定に伴うパンフレット（81.7万部）、制度説明用パンフレット（5.2万部）
		計	8,319	
保険料課				
被保険者証等作成業務委託事業 予算現額：48,919千円	13 委託料	被保険者証等作成業務委託料	48,087	年次一斉更新のための被保険者証の作成及び封入・封かんとあわせ、市町村が使用する年齢到達者用の被保険者証を作成した。 被保険者証（63万部）、年齢到達者用被保険者証（20.5万部）
		被扶養者情報提供業務委託料	747	
		計	48,834	
給付課				
損害賠償求償事務委託事業 予算現額：12,134千円	13 委託料	損害賠償求償事務委託料	12,125	交通事故等による療養等、第三者行為に係る損害賠償求償事務について業務委託した。 件数割（373件 × @1,600円） 求償割額（461,126,118円 × 2.5 %）
		計	12,125	

総務費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
給付課				
レセプト点検委託事業	13 委託料	レセプト点検委託料	77,642	医療給付費の適正化を図るため、診療報酬明細書等（レセプト）の内容点検業務を委託した。
予算現額：78,624千円		計	77,642	
給付課				
レセプト保管等委託事業	13 委託料	レセプト保管等委託料	3,301	紙レセプトに係る保管、集配及び廃棄処分を行なうため業務委託した。
予算現額：5,326千円		計	3,301	
給付課				
医療費通知作成業務委託事業	13 委託料	医療費通知作成業務委託料	73,466	医療機関等受診状況の通知作成について業務委託した。 (1,999,058通 3回実施)
予算現額：76,214千円		計	73,466	
給付課				
後期高齢者医療に関する事務の 代行業務委託事業	13 委託料	標準システム事務代行委託料	181,524	標準システムの適用業務、運用処理業務及び診療報酬明細書等（レセプト）の被保険者資格確認作業等について業務委託した。
予算現額：181,524千円		計	181,524	
給付課				
支給決定通知作成業務委託事業	13 委託料	支給決定通知作成業務委託料	21,643	標準システムから必要データを抽出し、葬祭費、療養費、高額療養費及び高額介護合算療養費に係る支給決定通知書の作成について業務委託した。 (葬祭費 35,254通、療養費14,818通、高額療養費571,838通、高額介護合算療養費22,206通)
予算現額：22,644千円		計	21,643	

保険給付費

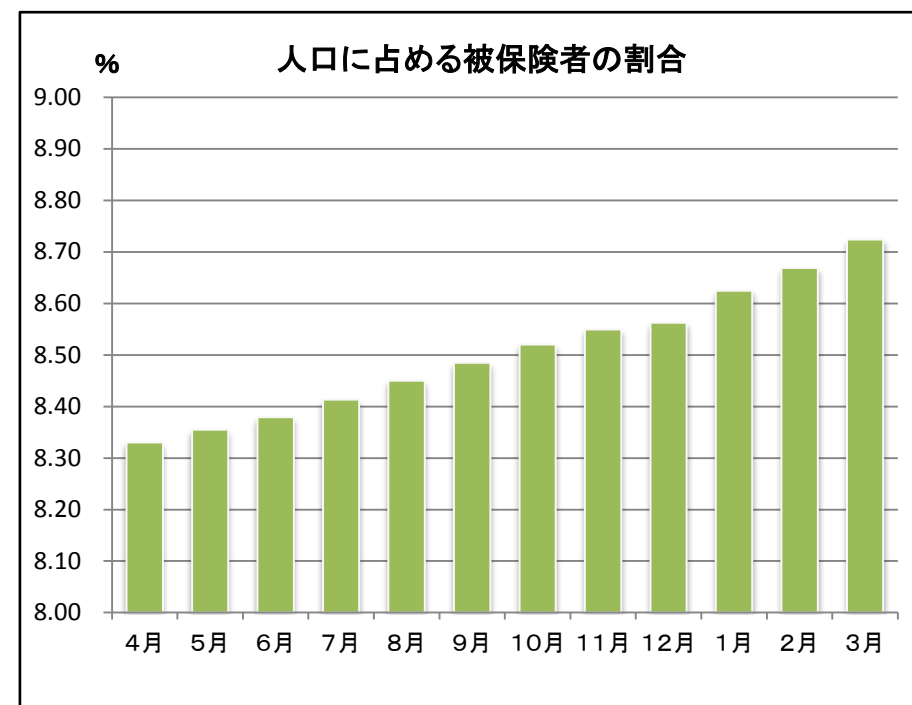
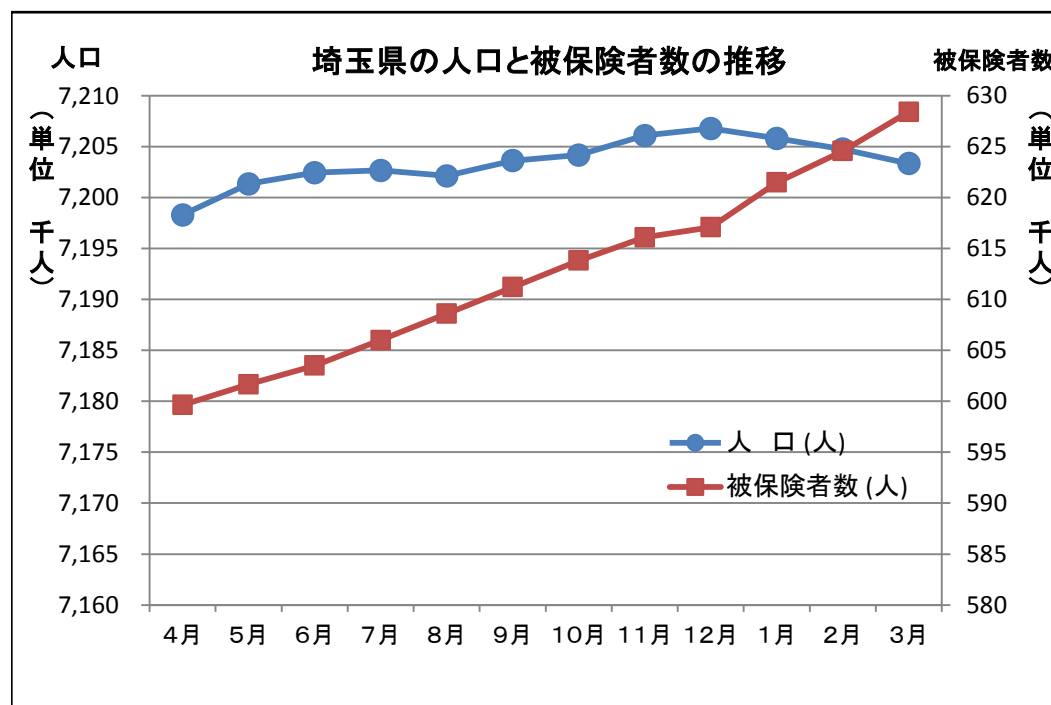
課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
給付課 療養の給付等の支払事務 予算現額：471,623,953千円	19 負担金、補助 及び交付金	療養給付費等	465,240,048	保険医療機関及び受領委任の協定が結ばれた施術所等に対して診療報酬・ 施術費等を支払った。
		計	465,240,048	
給付課 訪問看護療養費の支払事務 予算現額：888,496千円	19 負担金、補助 及び交付金	訪問看護療養費	862,133	居宅で継続して療養をうける被保険者に、看護師等が居宅で行う療養上の 世話または必要な診療の補助について、診療報酬を支払った。
		計	862,133	
給付課 審査支払事務委託事業 予算現額：1,731,243千円	13 委託料	審査支払委託料	1,724,281	保険医療機関等から請求のあった診療報酬明細書等（レセプト）に係る請 求内容の審査及び診療報酬等支払を行うため、事務委託した。 （審査支払手数料 17,434,779 件×@98.17 円 レセプトオンライン請求システム手数料 16,944,468件×@0.75 円）
		計	1,724,281	
給付課 高額療養費支給事務 予算現額：5,103,793千円	19 負担金、補助 及び交付金	高額療養費	4,910,237	1 カ月に支払った一部負担金等の合計が自己負担限度額を超えたとき、申 請により超えた金額を高額療養費として支払った。
		計	4,910,237	
給付課 葬祭費支給事務 予算現額：1,828,400千円	19 負担金、補助 及び交付金	葬祭費	1,762,600	被保険者が死亡した場合、申請により葬祭執行者に対して葬祭費を支給し た。 （葬祭費35,252件×@50,000円）
		計	1,762,600	

保健事業費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
給付課 健康診査委託事業 予算現額：1,378,884千円	13 委託料	健康診査委託料	1,120,201	被保険者の健康保持・増進のため、各市町村への事務委託により健康診査 を実施した。（受診者数 171,797人 受診率28.8%）
		計	1,120,201	

〈 参 考 資 料 〉

	平成23年									平成24年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人 口 (人)	7,198,305	7,201,353	7,202,451	7,202,664	7,202,139	7,203,630	7,204,168	7,206,089	7,206,786	7,205,807	7,204,761	7,203,336
被保険者数 (人)	599,645	601,673	603,505	606,009	608,596	611,212	613,812	616,093	617,088	621,486	624,572	628,422
人口に占める被保険者の割合 (%)	8.33	8.35	8.38	8.41	8.45	8.48	8.52	8.55	8.56	8.62	8.67	8.72



注: 人口は、埼玉県推計人口(毎月1日現在)による。
被保険者数は、広域連合の事業状況報告書A表(毎月月末現在)による。

○医療給付費の支給状況

件数：16,944,461件(レセプト件数) 一人当たりの給付費：772,609円

○高額療養費の支給状況

件数：677,227件 総額：4,910,236,389円(1件当たり：約7,250円)

○高額介護合算療養費の支給状況

件数：25,364件 総額：340,480,185円(1件当たり：約13,423円)

○移送費の支給状況

件数：6件 総額：135,500円(1件当たり：約22,583円)

○葬祭費の支給状況

件数：35,252件 総額：1,762,600,000円

○保健事業の実施状況

健康診査受診数：171,797人 受診率：28.8%

<参考>市町村における保険料収納状況

現年度分		割合*	調定額(円)	収納額(円)	収納率
	特別徴収	58.9%	25,694,643,330	25,694,643,330	100.00%
	普通徴収	41.1%	18,314,018,360	17,953,678,265	98.03%
	計	100.0%	44,008,661,690	43,648,321,595	99.18%
滞納繰越分			683,901,454	221,046,659	32.32%
合 計			44,692,563,144	43,869,368,254	98.16%

* 収納額より算出 後期高齢者医療事業状況報告書(事業年報)B表(1)より

<参考>低所得者への軽減状況

	軽減判定所得区分(世帯)	被保険者数(人)	軽減額(円)
均等割 9 割軽減	33 万円以下で、世帯の被保険者全員が年金収入 80 万円以下かつその他の各種所得がない	125,348	4,544,654,860
均等割 7(8.5)割軽減	33 万円以下	76,718	2,626,742,520
均等割 5 割軽減	33 万円+(24.5×世帯主以外の被保険者数)万円以下	13,416	270,114,120
均等割 2 割軽減	33 万円+ (35×被保険者数)万円以下	43,140	347,563,900
均等割 5(9)割軽減(被扶養)	制度加入直前に被用者保険の被扶養者であった者	68,714	2,490,270,180
所得割 5 割軽減	旧ただし書所得 58 万円以下	54,596	598,251,450

()内は実際の軽減割合

出納閉鎖直前の賦課状況(月次調定集計表)より H23 現年度分のみ

○後期高齢者医療費等に係る決算状況

特別会計決算の中で、後期高齢者医療制度の事務執行に係る経費を除いた療養の給付費等に要する費用や保険料を財源として執行した事業費等の決算状況（後期高齢者医療費等に係る決算状況）を別にとりまとめました。

医療費等に係る歳入については、全体で4,864億3,715万円となっており、その内訳は支払基金交付金（現役世代からの支援金）が2,024億4,679万1千円で医療費に係る歳入全体の41.61%、国庫負担金（高額医療費負担金含む）が1,101億223万8千円で同22.63%、保険料負担金（市町村で徴収した保険料）が439億8,072万6千円で同9.04%、埼玉県からの療養給付費負担金（高額医療費負担金含む）が379億2,860万3千円で同7.80%、市町村からの療養給付費負担金が372億6,096万1千円で同7.66%、国からの調整交付金が316億1,792万4千円で同6.50%、保険基盤安定負担金等（保険料不均一賦課負担金含む）が73億2,882万9千円で同1.51%、前年度繰越金が66億1,731万9千円で同1.36%、保険給付費支払基金の取崩し額が55億943万5千円で同1.13%、保険料減額措置等に係る保険料補てん分の交付金（臨時特例基金の取崩し）が26億5,242万3千円で同0.55%、健康診査事業に係る補助金が2億8,527万2千円で同0.06%、その他が7億662万9千円で同0.15%となります。

医療費等に係る歳出については、全体で4,837億1,615万7千円となっており、その内訳は療養給付費（訪問看護費、高額療養費など含む）が4,713億5,303万2千円で医療費に係る歳出全体の97.44%、基金積立金（保険給付費支払基金）が58億3,748万円で同1.21%、葬祭費が17億6,260万円で同0.36%、審査支払手数料が17億2,428万1千円で同0.36%、健康診査事業に要する費用（健康相談訪問指導に要する経費を含む）が11億2,516万8千円で同0.23%、償還金が10億1,128万7千円で同0.21%、財政安定化基金拠出金が4億6,063万2千円で同0.10%、長寿・健康増進事業に要する経費が2億4,020万3千円で同0.05%、その他が2億147万4千円で同0.04%となっています。

なお、これらについて図に表したものが次ページ「平成23年度 後期高齢者医療費等に係る歳入歳出決算の概要」であります。

平成23年度 埼玉県後期高齢者医療等に係る歳入歳出決算の概要

①歳入(後期高齢者医療費等に係る収入)

4,864 億円

(A) 国庫負担金 (高額医療費負担金含む) 1,101 億円 22.6% 対象額の3/12	(B) 調整交付金 (国庫) 316 億円 6.5%	(C) 県負担金 (高額医療費負担金含む) 379 億円 7.8% 対象額の1/12	(D) 市町村 負担金 373 億円 7.7% 対象額の1/12	(E) 支払基金交付金 (現役世代からの支援金) 2,024 億円 41.6% 対象額の4/10、現役並み被保険者分	(L) 保険料 負担金 440 億円 9.0%
--	-------------------------------------	--	--	---	----------------------------------

【実績見込1115億円】

【実績見込382億円】

【実績見込366億円】

【実績見込2,032億円】

(F) 繰越金 66 億円 1.4%	(G) 保険基金安定負担金等 73 億円 1.5% (県3/4 市町村1/4)	(H) 保険料軽減補填 27 億円 0.6%	(I) 健診事業補助金 3 億円 0.1%	(J) 第三者納付金等 7 億円 0.1%	(K) 保険給付費支払基金繰入金 55 億円 1.1%
-----------------------	---	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------------

②歳出 (後期高齢者医療等に係る支出)

4,837 億円

(M) 療養の給付等に要する費用 (療養給付費・訪問看護費・高額療養費・高額介護合算療養費など) 4,714 億円 97.4%	保険料充当分 391 億円
--	------------------

(N) 償還金 10 億円 0.2%	(O) 保険給付費支払基金積立金 58 億円 1.2%	(P) 長寿・健康増進事業費等 2 億円 0.1%
-----------------------	--------------------------------	------------------------------

(Q) 審査支払手数料等 17 億円 0.4%	(R) 葬祭費 18 億円 0.4%	(S) 財政安定化基金拠出金 5 億円 0.1%	(T) 健康診査事業費 11 億円 0.2%	(U) その他 2 億円 0.0%
----------------------------	-----------------------	-----------------------------	---------------------------	----------------------

保険料充当分
49 億円

③決算剰余金

歳入(4,864 億円) - 歳出(4,837 億円) = 27 億円

	決 算 額	実 績 見 込 額	返 還 予 定 額	追 加 予 定 額
国庫負担金精算	1,101 億円 -	1,115 億円 =	14 億円	14 億円
県負担金精算	379 億円 -	382 億円 =	3 億円	3 億円
市町村負担金精算	373 億円 -	366 億円 =	8 億円	1 億円
支払基金交付金精算	2,024 億円 -	2,032 億円 =	8 億円	8 億円
健診事業補助金精算	3 億円 -	3 億円 =	0 億円	0 億円
調整交付金	316 億円 -	316 億円 =	0 億円	0 億円
臨時特例基金(保険料減額)精算	27 億円 -	27 億円 =	0 億円	0 億円
計			8 億円	25 億円

④基金積戻額

◎決算剰余金(27 億円) - 返還予定額(8 億円) = 19 億円

※金額は億円単位としているため、
実際の決算額とは一致しません。